

## ご挨拶

会長 布目 勲

コロナ禍で伸ばしておりました第29回「葛飾の美術家展」を会員、区民の皆様の大なご協力を得まして、2月19日から2月28日まで、無事に開催することができました。誠にありがとうございました。

第29回展は昨年11月から準備をしてきましたが、年末にコロナの感染拡大の情報が広まり、開催が心配されました。そのような状況で会員の皆様には多くの出品をしていただき感謝にたえません。

昨年の区美術会は予定されていた本展（5月）、絵葉書原画展（7月）とも延期になりましたが、かねてから計画しておりました葛飾の観光絵葉書セットを4月に完成させ、コロナ対策をとりながら8月1日～28日まで水元のレストランNAKAMURAにて小さくお披露目、その後、「葛飾の絵葉書原画と情景展」をギャラリー2で開催し、会員の有志の皆様方には小品を2点ずつ出品していただき



ました。

久しぶりに会員の皆様とお会いして、私はいへん力づけられました。美術家は「自分の思う事を形にし、発表することで気持ちがスッキリするし、次に進むこともできる」のです。今後とも葛飾区民に向けて区美術会とその美術作品を大いに知らせていきたいと思っております。

公共施設への展示では、新日赤病院が新宿図書館跡地に建設される予定です。その壁面に新しく会員の絵を飾れるように計画しております。

## ■ 第31回定期総会を書面で実施

宮澤 賢一

2021年度の第31回葛飾区美術会定期総会は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令に伴い、会議室を使用しない書面による定期総会といたしました。

本年4月末に会員の皆様に議案書として、

2020年度の事業報告、決算報告、2021年度の事業計画案、予算案および委員の補充について等の審議事項とその承認を得るための書類を事務局より郵送しました。5月中旬に郵送にてご返事をいただき、その結果、会員の半数を越える承認を得られました。書面でのご協力、誠にありがとうございました。

会員の皆様におかれましては、今年度が新型コロナウイルスも治まり、本会も含め、多くの文化・創作活動が活発に行われます事を願っております。

会員回答数

- 承認 32名     不承認 0名  
 未回答 12名

## ■ 第29回葛飾の美術家展

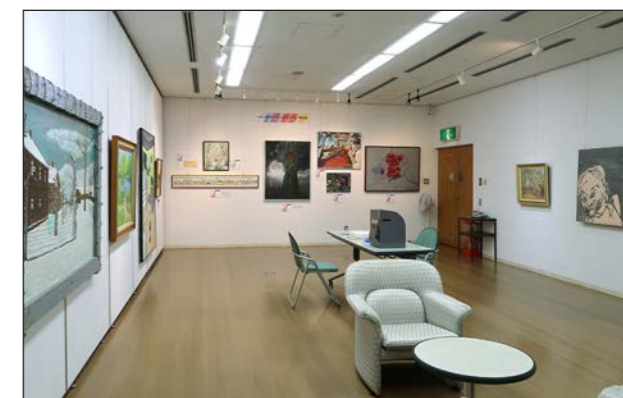
布目 勲

例年であれば風薫る5月に開催されるはずの第29回葛飾の美術家展でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、この時期会場のシンフォニーヒルズが閉館され、翌年の2月の寒い季節に延期されて開催となりました。コロナ禍がまだ収まらない中での開催



でしたので、指定管理者の方からも感染者を出さないための細かい指示がありました。

特に受け付けは、コロナ対策のために従来とは全く変わりました。入口には顔で計る非接触タイプの体温測定装置が設置され、マスクを外して検温しなければなりません。次に体調のチェックシートに書き込んでいただ



き、住所・氏名も必ず書いていただきました。これを書けない人は入場を断りました。手はアルコール消毒、使用されたペンは消毒。そして図録は手渡しではなく取っていただくなど、何はともあれ、感染防止を第一に務めました。

その他にも感染防止のためにいろいろ工夫されました。作品の搬入時には、感染リスクのある方にはなるべく早めに帰っていただきました。また、毎年使用していた奥の休憩室は設けず、出展者・参加者の皆さんに配っていた飲み物はなしとしました。

このようにして第29回の「葛飾の美術家展」は始まりました。二日目の2月20日（土）はコロナ禍にもかかわらず来館者が多く、会員も14名が参加し、ギャラリートークでお互いに密にならないように気を遣いながら、自身の作品を説明しました。油彩画「花曇りの池」を出展した妹尾浩行氏は、コロナ禍の中で1年間集中して描き上げ、3日前に仕上がった時は「晴れ晴れとした気持ちになった」と嬉しそうに話していました。また、西

山志郎氏の鍛造・布目象眼の作品「ひと葉（金の葉）」は、その繊細な作風で話題になりました。

会期中はコロナ禍でしかも寒い2月の開催にもかかわらず、たいへん大勢の方が作品を見に来て下さいました。会員の皆様のご尽力に感謝いたします。また、今回も若手アートコンペティションの受賞者8名の展示もありました。新しい風を吹き込んで次の世代を担って行って欲しいものです。



## ■「葛飾の絵葉書原画と情景展」

土屋 政夫

2020年4月に絵葉書セット「葛飾めぐり」が出で上がりしました。そのお披露目をするはずだった「葛飾の美術家展」がコロナ禍の影響で中止を余儀なくされてしまいました。それならばと7月にシンフォニーで開催しようと企画しましたがこれも中止。最初に絵葉書原画を展示できたのが8月水元のレストランNAKAMURAでした。お店の方のご厚意により雰囲気の良い店内で12作品が素敵に飾られました。

これはこれで素晴らしかったのですが、シンフォニーギャラリーで会員の皆様の作品と一緒に開催したいとの思いが強く、ギャラ



リーⅡに空があったので予約し10月5日から1週間「葛飾の絵葉書原画と情景展」を開催することが出来ました。絵葉書制作企画から足掛け2年、やっと区切りまで漕ぎつけたなど、感慨深いものがありました。絵葉書原画12点、プラス他の葛飾の風景画が20点程、それと葛飾をイメージした抽象、工芸の情景作品も展示しました。出品して下さいました方へ感謝申し上げます。

自粛ムードの中、展示作業をして頂いた会員の皆様が生き生きとされていたことがとても印象的でした。小さな作品ばかりでしたが、いつもとは違った作風が見られました。やはり展覧会はいいなと感じたところです。



## ■「葛飾めぐり原画展」開催

小野寺 マヤノ

欧風レストラン NAKAMURAで、2020年8月の間、「葛飾めぐり 原画展」を開催させていただきました。こちらは水元公園に近い住宅地にある知る人ぞ知る隠れ家レストラン。地元の方々に愛されている姿が何度かテレビの番組にも取り上げられています。

落ち着いた店内に12枚の原画を掛け、食事をしながらお客様に見ていただきました。期間中地元の新聞に取り上げられとあって、レストランの常連以外のお客様もお越しくだ

さったそうです。多くの地元の方にご鑑賞いただき、とても評判が良かったとのこと。また機会がありましたら、またこちらで企画展を開催させて頂きたいと思っています。



## ■「特別企画小品展」について

土屋 政夫

シンフォニーヒルズ改修のため、第29回葛飾の美術家展と第30回展の間隔が空いて間延びしてしまうため、小品展を企画致しました。

会期：2021年11月8日(月)～14日(日)

会場：シンフォニーギャラリーⅠ

テーマ：自由

サイズ：壁面作品 SM～10号以内

点数5作品程度まで

立体作品 葛飾の美術家展に準ずる

締切：出品申込締切日を10月10日に予定

出品料：無料

搬入：初日9:00～

搬出：最終日16:00～

□ 少し変わった企画はないかと話し合いました。ギャラリーⅡを利用してフリーマーケットや、蚤の市のようなことを考えましたが、5月現在、結論に至っていません。先々の状況がわからないため、難しい情勢です。

多くの皆様の出品をお待ちしています。

## ■鍛金について

西山 志郎

金属技法は大きく分けると彫金・鋳金・鍛金の3つです。私が専門とするのは金属の特性である展延性(曲がる、凹む、延びる他)を利

用して金槌で成形する鍛金です。金属は硬いので赤くなるまで火を当て[焼鈍、又は鈍(なま)し]軟らかくしてから作業します。

コップを例に説明しますと底をコンパスで描き、当金(あてがね)という道具の先端を描いた円周に合わせ(見えないので勘)手前を少



し浮かし打ちます。左手で金属板を回転させながら螺旋状に外周に向かって打ち進んでいきます。陶芸のろくろ作業を横にしたような感じです。外周まで行きま

したら金属は打つと硬くなるので鈍します。個人差はありますが「打つ、鈍す」を繰り返すこと 10 回程で垂直なコップに立ち上がるでしょうか。

絞りとは外周を小さくしていく作業で、この円周はゼロにもなります。円周はどこに消えた？鍛金技法で小さな装身具からパーツを溶接して大きなオブジェなど作っています。

鉄・銅・真鍮・アルミ・ステンレスなど様々な金属の特性を生かし〔作った本人が驚くほどの作品〕を目指し、日夜適当に頑張っています。

## ■ 正倉院に納める

吉川 三男

私が正倉院に納める太刀を作ることになりましたのは、偏に加島先生の御指導のおかげです。先生は永年、正倉院の刀の手入れをされており、所長より相談を受けておられたようです。先生から作刀を打診された時、私は即座に「やらせて下さい！」と答えました。そして、その年の十月、手入れの際、正倉院の倉の中に入る事になります。

倉は鉄筋コンクリート造りで気温や湿度が厳しく管理されており、雨が降ると倉の戸は開けられず、入ることはできません。また、一日四時間（午前二時間、午後二時間）と決められています。入る時は手を消毒し、白衣に着替え、指定された場所で係の人が運んで来るのを待ちます。刀は一点一点桐の箱に入っていました。私は先生の隣に座り、手入れされた刀身を見させていただきました。

正倉院の太刀・鉾・刀子の全作品を手



黒作太刀（くろづくりのたち）模造  
下が吉川三男作（刀工名 大野義光）の刀身

取って見る事ができた事は、私の生涯最良の思い出になりました。作る作品は先生と相談して、黒作の太刀十三号に決まりました。

作刀にあたり、道具直しから玉鋼（たまはがね）や炭の量、そして、それに係る日数など、事細かく作刀工程を書き出して提出します。平成七年十月二十日、契約を結び、平成八年三月二十四日に納める事になりました。

銘は平成八年三月大野義光造之、と指定されたとおりに入れて、正倉院に納めました。

## 特別寄稿 葛飾区美術会の向上をめざして

顧問 土井 豊

わが美術会もめでたく発会30周年を迎えるに至った。

シンフォニーヒルズの新館が建設される時、葛飾区美術会の話も重なって、忙しくもあり嬉しい時期でもあった。有志がヘルメットをかぶり、工事現場に入ってギャラリーの施設や照明等についてアドバイスをした当時の事を思い出す。

創立した時の会員数は54名で、錚錚たる作家が結集された。しかし今は早世されたりして、当時の方は数える程しかおられなくなった。発会の時に葛飾区の住人、またはゆかりのある作家によって、独自の美術会を組織することを決め、個々に質の高い作家でなければならないという約束をし合った。当時はその意識が会を盛り上げ活気があった。さて現在、意気消沈の傾向が見られないかどうか。例えば会員数が50名を切り、それに加えて不出品者が6人も出ている。この事ばかりでなく、各作家の意識がどうなっているのか。会に入ったらそれで安心。安穩に無難に出品していれば良い。そういう事で会の向上が見られるかどうか。会員同士が励まし合い、己を磨き、お互いに競い合い、切磋琢磨して新し



オシラ神（遠野物語）

い道に挑戦し前進して行く意気と勇気を示していく事が肝心だと思うのだが。

東京都にはいくつかの区立の美術会が存在している。その中には毎年優秀な作品を発表する

有名な作家のそろった団体もあり、我々は大いに刺激を受けている。優れた点を拾い出し研究して、我が会に吸収して行く事も会を向上させる一つの方法ではないかと考えている。

幸い最近若い有望な作家が入会するようになってきたのは喜ばしい事である。これを機会に、更に才能ある新人をふやして、新しい息吹を会の内部に充足させ、足踏みしているのを止めて、前進していく姿に変えていってもらいたいものである。

これからは明るい希望を持って会の向上を計るよう力を出し合って行きましょう。



## ■ 2021年度 裸婦教室開催

丹羽 良勝

2020年はコロナ禍の影響があり、裸婦教室の開催ができませんでした。2021年に第29回葛飾の美術家展の開催を期に、期間中3回の教室を開催しました。【2月21日(日)・23日(火)・25日(木)】

運営にあたっては、今までの定員20名を15名に減らす、手指の消毒を行う、適宜換気するなど十分な注意が必要でした。また、今まで固定で描いた絵を今回は3回とも10分ごとにポーズを変えてのクロッキーを行い、まだ本格的に絵を取り組んだことがない方も参加しやすいように配慮しました。このよ



うな状況の中でのべ37名の参加があり、有意義な時間となりました。シンフォニーヒルズの改修工事のため、11月頃まではアトリエが使えないとのこと。また開催できるようになったら、改めて計画したいと思っています。

## 新会員紹介

**高野 由美** 【日本画】  
〒124-0011 東京都葛飾区四つ木 1-11-3 Tel: 080-7851-4113

**加藤 美穂** 【油彩】  
〒124-0011 東京都葛飾区四つ木 5-5-10-506 Tel: 080-3405-0270

**さとう 賢一** 【水彩】  
〒125-0032 東京都葛飾区水元 3-19-16-208 Tel: 080-5487-8729

**齋藤 守** 【水彩】  
〒125-0041 東京都葛飾区東金町 7-11-116 Tel: 03-5699-1544

## 会員の展覧会活動

\* 各作品展はコロナ禍の影響下における緊急事態宣言・まん延防止等重点措置などの影響により中止・延期となることがあります。会期や会場につきましては必ず直前にご確認ください。

3/24~4/10	剪画展「線路は続くよ」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
5/12~5/29	剪画展「星々の物語」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
5/17~	延期	日芸展	小野寺正光
5/19~5/27	第68回日府展	宮澤賢一	オンライン
6/9~6/26	剪画展「色違い」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
6/14~6/19	卒寿記念 土井豊展	土井豊	ギャラリー暁 銀座
6/23~7/5	日象展	岩堀幸子	新国立美術館
6/23~6/27	日府展 名古屋展	宮澤賢一	愛知県美術館
7/4~7/24	個展「あたたかなガラス」	高野由美	ART TRACE GALLERY 両国
7/5~7/10	熱田隆一 個展	熱田隆一	銀座ニッチギャラリー
7/20~8/1	松戸市美術展	丹羽良勝	松戸市文化ホール
8/5~8/12	九条展	布目勲	東京都美術館
8/16~8/21	宮澤賢一展	宮澤賢一	ギャラリー暁 銀座
8/25~9/11	剪画展「しましま」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
9/1~9/26	現代アート実験02	丹羽良勝	松山庭園美術館
9月	日府展 春季洋画部展	宮澤賢一	ギャラリーくぼた 京橋
9/27~10/5	新日美展	土屋政夫	東京都美術館
10/6~10/23	剪画展「あの頃の歌」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
10月中旬	日象 東京支部展	岩堀幸子	新小岩地区センター
10/24~10/30	蒼樹会展	青木勉武・小幡能子	東京都美術館
11/1~11/6	椎名保個展	椎名保	銀座第7ビルギャラリー1階
11/2~11/8	青枢展	会場公・小野寺マヤノ・中村瑞子・丹羽良勝・日野春美	東京都美術館
11/8~11/13	第18回 墨承会展	神取承子	ギャラリー梅むら 日本橋
11/月中旬	新小岩文化祭	岩堀幸子	新小岩地区センター
11/17~12/11	剪画展「色違い」	小野寺マヤノ・日野春美	剪画アート&スペース
11/20~11/26	葛飾現代書展	和田克巳	かつしかシンフォニーヒルズ
12/2~12/12	吉岡 賢一 個展	吉岡賢一	かつしかシンフォニーヒルズ
12/8~12/12	新日美 京都巡回展	土屋政夫	京都文化博物館
未定	第49回 青藍水墨画協会展	神取承子	